

ビジネスプロセス改革、BPM、ビジネスアナリシスにご興味のある皆様へ

いずれもプロセスモデリングが中心になります。バリューチェーンプロセス協議会では、プロセス参照モデル(下記注)を利用することで、製造メーカーでは営業・開発・設計業務のプロセス改革・BPM・IT 導入によって ETO 品の売上が倍増、金融業の情報子会社では 20 代若手 SE によるビジネスアナリシス実践、という画期的な事例を支援・実現しています。

(注)プロセス参照モデル: ビジネスプロセスの共通的なプロセス機能、インプットやアウトプット、業務ルールなどを階層的に定義したもの

1.バリューチェーンプロセス協議会とは？

バリューチェーンの改革・設計をプロセス参照モデルを利用して行う NPO です

バリューチェーンには研究開発、商品開発、マーケティング・販売、設計、生産、出荷、サービスなどの機能のヨコの流れ、そして、戦略、戦略計画、管理、業務実行という機能のタテの関係があります。これらの機能について、ビジネスプロセス中心に改革することで、組織・人で改革すべき点も明確になり、IT へのビジネス要求も定義できます。

ところが、バリューチェーンの全機能をビジネスプロセスとして改革・設計するには、個人の今までの業務経験を超えて設計する能力、かつステークホルダの合意形成が必要となります。この際に、バリューチェーンのビジネスプロセスを正確に映し出す「鏡」として、プロセス参照モデル(下記参照)を利用することが効果的です。現状の調査・記述が同じ粒度でもれなく高生産性で行え、設計では欠落または重複しているビジネスプロセスを速やかに洗い出せるからです。

バリューチェーンプロセス協議会(VCPC)は、バリューチェーンに関する世界のプロセス参照モデルを幅広く研究する特定非営利活動法人(NPO)です。そして、ビジネスプロセス、組織・人や IT システムに関わる改革の実践事例や方法論を紹介して行きます。

プロセス参照モデル: 米国 Supply Chain Council が提唱する SCOR (Supply-Chain Operations Reference) モデルや、Value Chain Group が提唱する VRM (Value Reference Model) などがあります。SCOR モデルについては日経ビジネス 2011 年 2 月 14 日号で、株式会社今野製作所、日本電気株式会社、ならびにパナソニック株式会社における活用事例が紹介されています。VRM については CIO 日本語版 2010 年 3 月号で、日産自動車株式会社の活用事例が紹介されています。

2.入会のメリットおよび活動目的は？

バリューチェーンの改革・設計を共に学び、共に実践活動する NPO です

現状のビジネスプロセスの可視化に延々と時間をかけている事例を見受けますが、これは製造でいうと付加価値のない前段取り作業でしか過ぎません。プロセス参照モデルを使えば、シングル段取りのように、正確に、高品質かつ高い生産性で可視化できます。また、プロセス参照モデルは他の手法と組み合わせると更に大きな効果が得られます。たとえば、今回の震災直後に、プロセス参照モデルで企業活動全体を鳥瞰してあったため、週末にリスクマネジメント手法を組み合わせることで復旧計画を立案し、月曜日には必要な対応策を発動した経営者の方がいます。

皆様、VCPC において共に、様々なプロセス参照モデルからグローバルな業務の基本形を学び業

務知識を身につけて、さらに改革・改善手法との組み合わせを研究・実践しませんか。そして、自らのキャリアアップに留まらず、企業の枠を超えた貴重な人的ネットワークを広げませんか。そして、自社や顧客のバリューチェーンの再構築のために活動しませんか。また、多くの中小企業も大きなバリューチェーンの一員であり、こうした視野とスキルを持つ人材の支援を待っています。

- ・ITC の方は、協会発行『階層化アプローチによる業務システム設計』の考えの理解のために
- ・BPM 協会の方は、プロセスの可視化と分析・設計における生産性と品質の向上のために
- ・IIBA の方は、ビジネス要求、ステークホルダ要求、ソリューション要求の階層レベルの理解のために
- ・PMI の方は、適用分野に関する業務知識の習得のために

1) ワーキンググループ(WG)活動

会員の中から提案されたテーマに対して、皆さんが持っているナレッジや情報をお互いに出し合い、そのテーマへの理解を深め、あるいはそれを解決するための方法を検討します。企業内だけでは知り合うことが出来ない、全く違う業務分野や業界、そして異なる年代の人達と議論を交わす中で、貴重なヒントが得られます。WGとしては、浜松家具 SCM、工事プロセス参照モデル適用拡張、改革プロジェクト企画、ビジネスプロセス開発のモデル研究、BPM アプローチによる IT システム構築研究、ビジネスルール研究が活発に活動しています。

2) 普及プロジェクト活動

企業の本当の強みを引き出せる人材を大学や大学院でも育成するため、学生がプロセス参照モデルによって企業経営の全体像を学べるようにしたいと考えている先生達と一緒に教材やカリキュラムを開発します。他にも、ITC やビジネスアナリスト向けの業務知識の習得など。

3) 教育研修活動

バリューチェーンに関する講演や事例発表、プロセス参照モデルの基本的な使い方の研修、そしてより専門的な研修に参加しませんか。

また、会員向けの無料ミニワークショップ(約2時間、夜間)として、経営の全ての機能を捉えるには、経営機能を階層で捉えるには、モデリングの成果物は何か、モデリング(抽象化)するには、プロセスの調査・記述に時間をかけないためには、(ブラック BOX)プロセスや人間系プロセスを正確に調査・記述(見える化)するには、複数のプロセスを共通化するには、まず重要な課題だけを抽出・解決するには、上位プロセスを下位に展開(構造化)するためには、・・・などのテーマを実施中。

3 . 年会費および入会手続は？

VCPCは皆様からの年会費で運営する NPO です

会員カテゴリー	年会費
個人会員	15,000 円
アカデミー、NPO 会員	30,000 円
法人会員	200,000 円 (社員数 200 名以下は 100,000 円)

会員資格は年会費入金日から翌年の同月末日までとなります。

入会手続は公式ウェブサイト <http://vcpc.org> からお願い致します。

問合せ先: バリューチェーンプロセス協議会事務局 info@vcpc.org

東京都品川区大井 1-6-3 アゴラ大井町3階